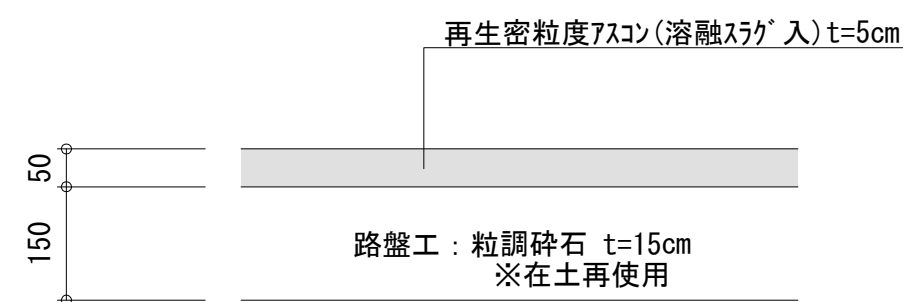
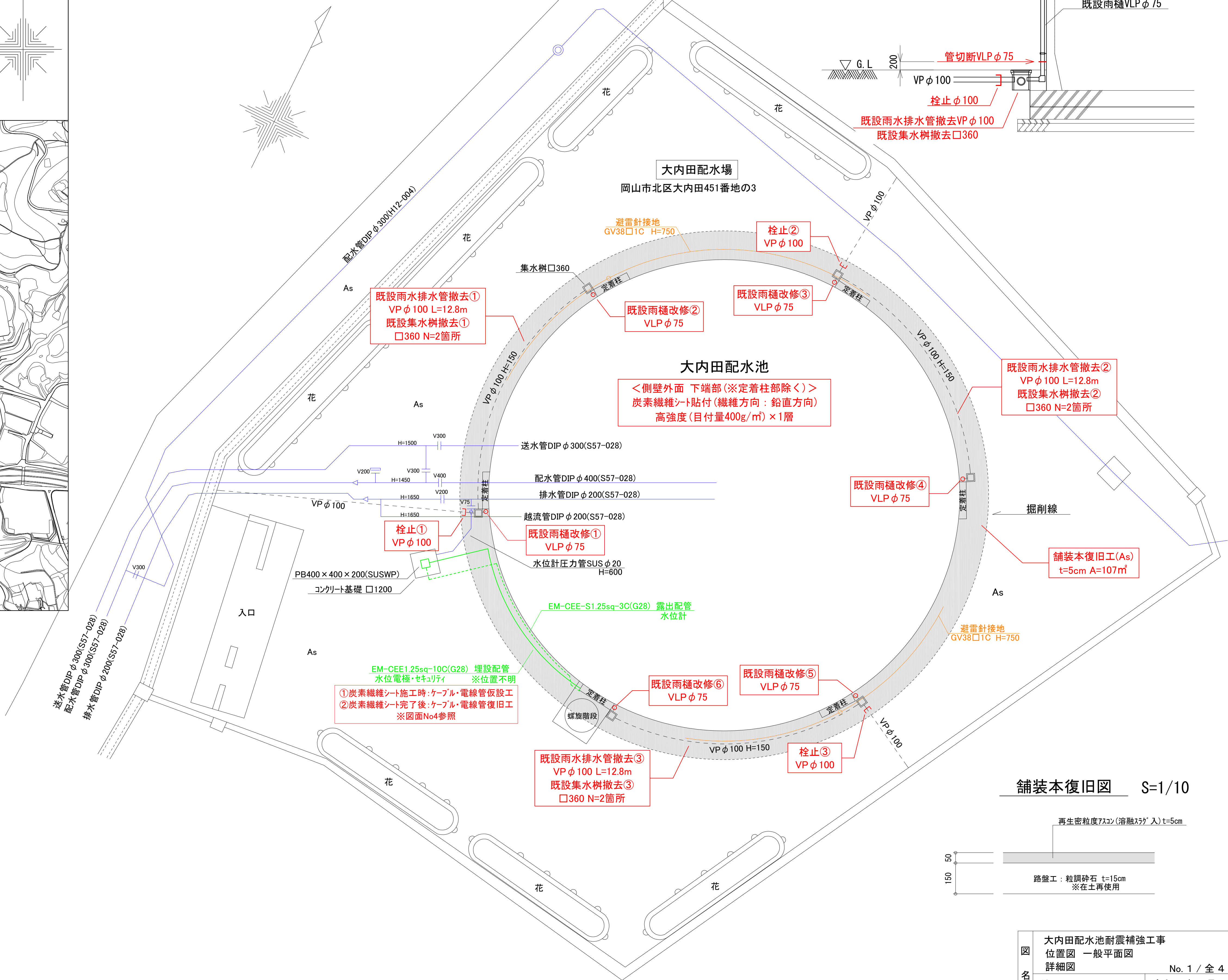


大内田配水池	
築造年度	昭和58年
施設規模	有効容量：2,000m ³ (容量：4,250m ³)
構造形式	地上水槽(PC製)
側壁と底版の支持形式	固定支持
基礎形式	直接基礎
壁厚	200mm
内径	φ22.6m
HWL	100.0m
LWL	95.0m
有効水深	5.0m(水深：10.6m)
7スレ含有	
外壁・定着柱仕上塗材	有
屋根防水塗材	無



図名	大内田配水池耐震補強工事 位置図 一般平面図 詳細図				
	縮尺 図示		令和 年 月		
	部長	課長	係長	設計	写図
	岡山市水道局施設整備課				

一般構造図 S=1/50

$$S=1/50$$

平面图

屋根伏図

側壁平面図

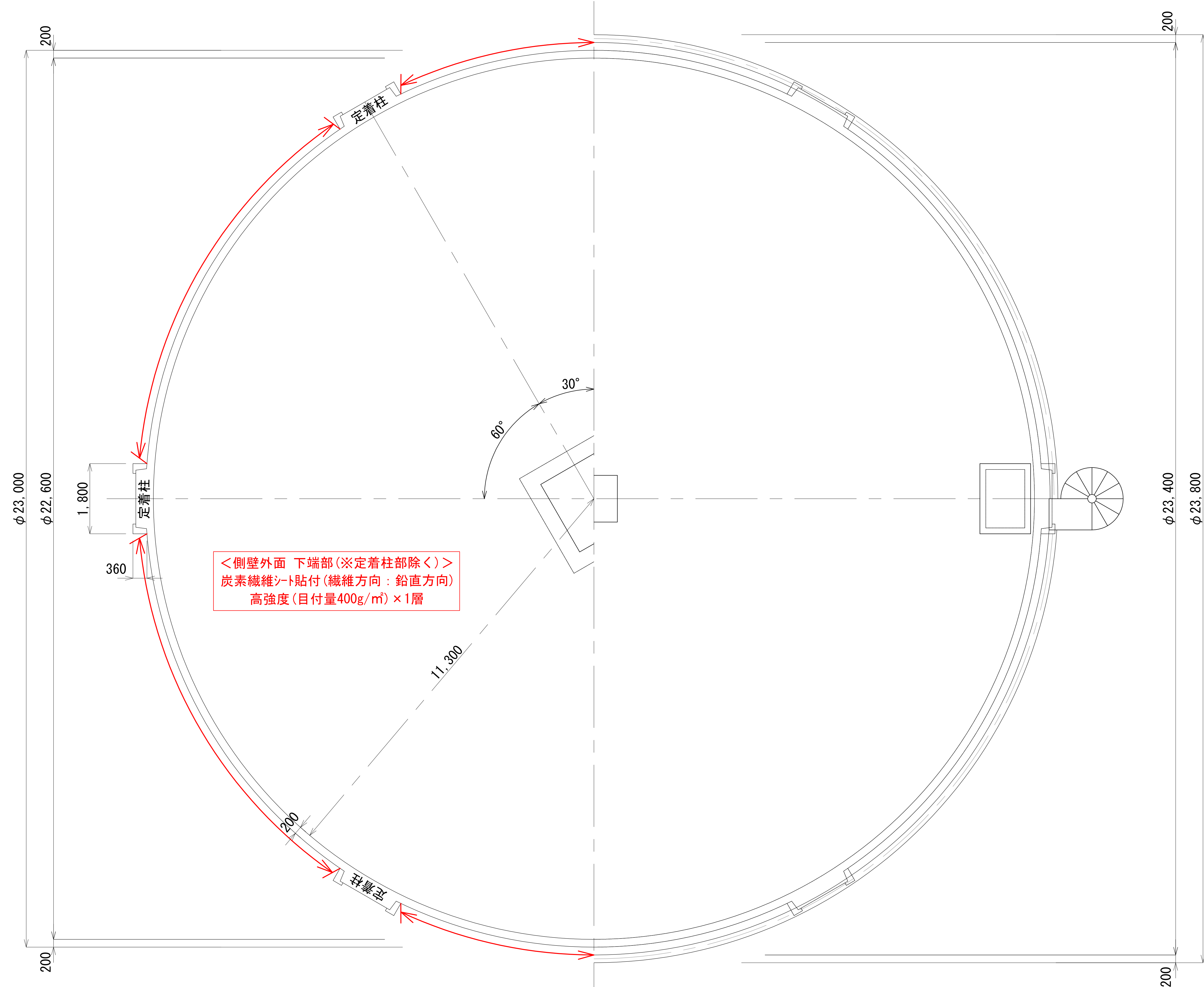
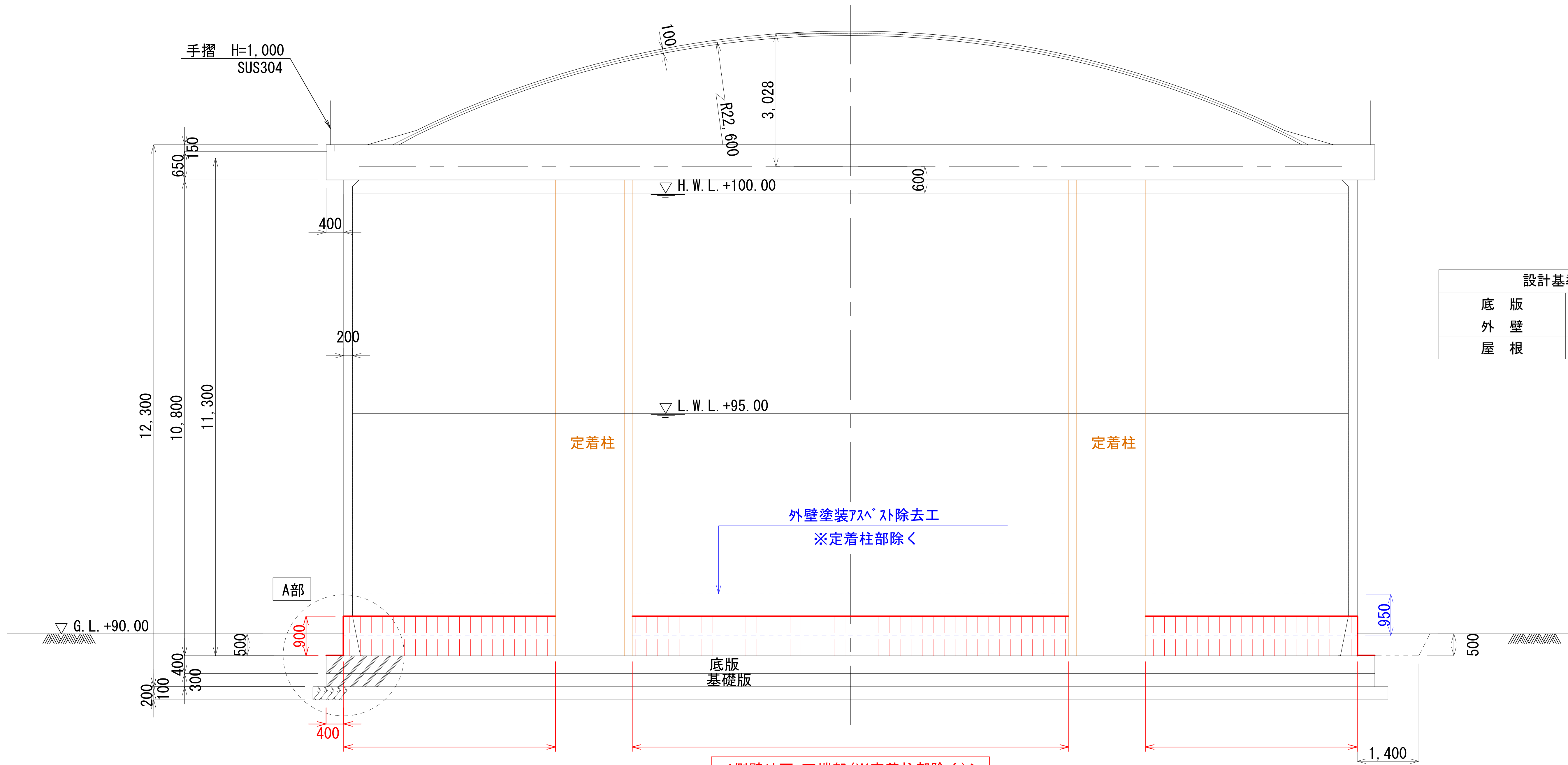


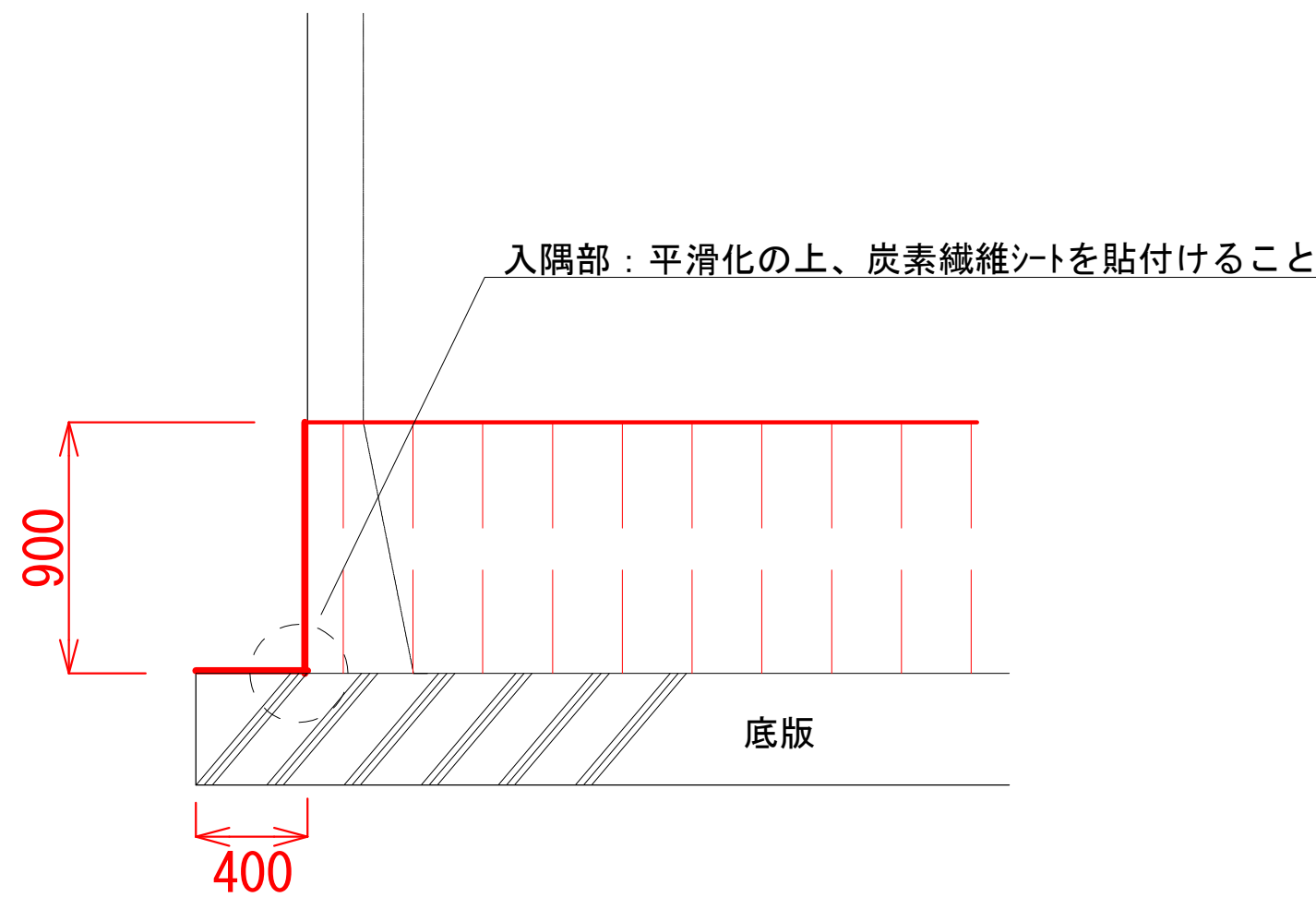
圖 名	大內田配水池耐震補強工事					
	一般構造圖					
	No. 2 / 全 4					
縮尺			圖示		令和 年 月	
部長	課長		係長	設計	寫圖	
岡山市水道局施設整備課						

炭素繊維補強詳細図(側壁外面) S=1/50



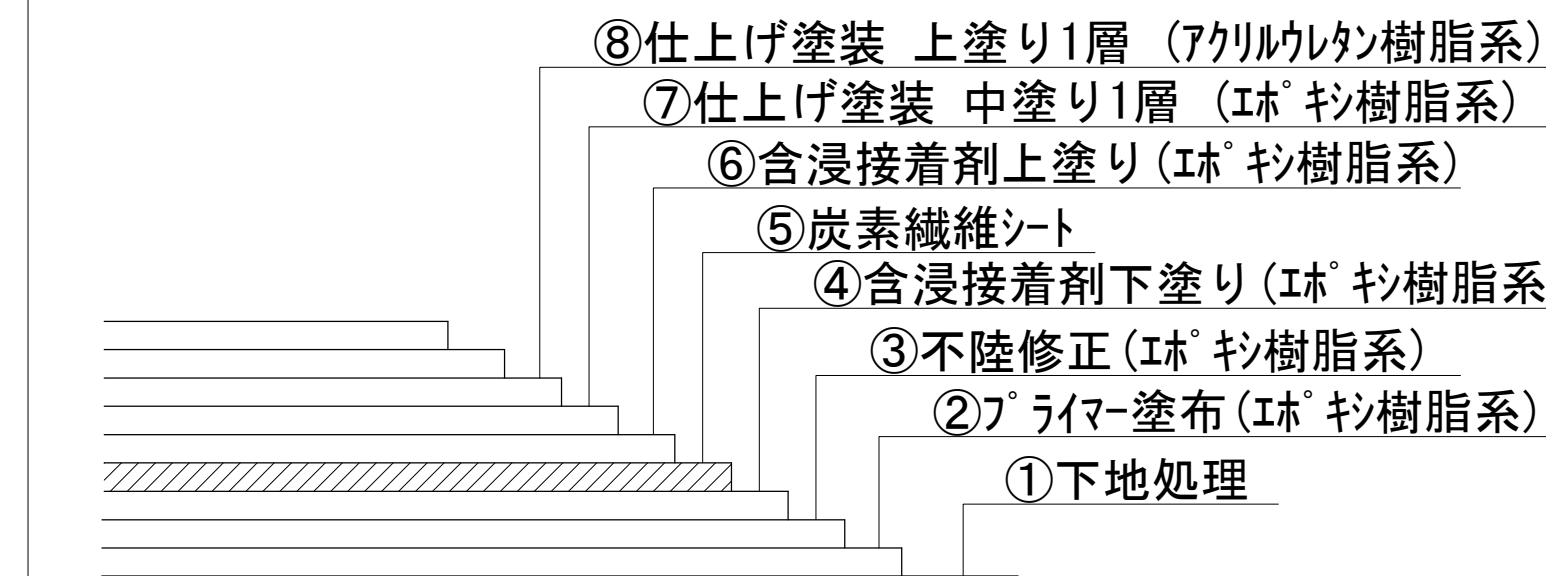
設計基準強度	
底版	30N/mm ²
外壁	35N/mm ²
屋根	24N/mm ²

A部拡大図 S=1/25



<側壁外面 下端部(※定着柱部除く)>
炭素繊維シート貼付(繊維方向:鉛直方向)
高強度(目付量400g/m²)×1層

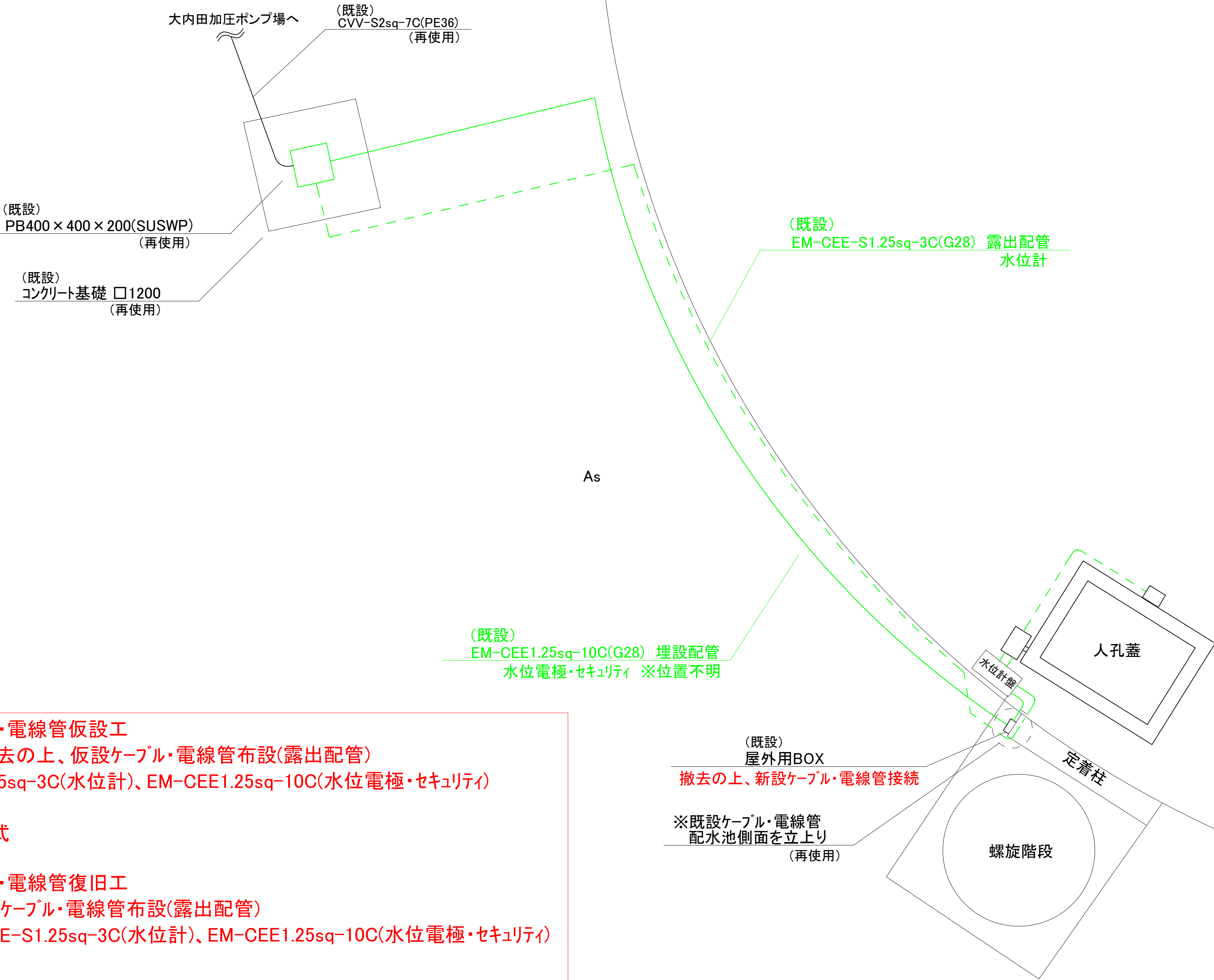
炭素繊維シート断面詳細図



備考)
コンクリート表面に幅0.2mm以上のクラックがある場合は、
クラック注入の上、施工すること

図名	大内田配水池耐震補強工事 炭素繊維補強詳細図(側壁外面) No. 3 / 全 4				
	縮尺	図示	令和	年	月
部長	課長	係長	設計	写	図
岡山市水道局施設整備課					

電気設備詳細図 S=1/30



- ①炭素繊維シート施工時:ケーブル・電線管仮設工
 ※既設ケーブル・屋外用BOX撤去の上、仮設ケーブル・電線管布設(露出配管)
 ・ケーブル(新設):EM-CEE-S1.25sq-3C(水位計)、EM-CEE1.25sq-10C(水位電極・セキュリティ)
 ・電線管(新設):FEP30
 ・ケーブル、電線管付属材料:1式
- ②炭素繊維シート完了後:ケーブル・電線管復旧工
 ※仮設ケーブル撤去の上、新設ケーブル・電線管布設(露出配管)
 ・ケーブル(仮設再使用):EM-CEE-S1.25sq-3C(水位計)、EM-CEE1.25sq-10C(水位電極・セキュリティ)
 ・電線管(新設):G28
 ・電線管付属材料:1式

図 名	大内田配水池耐震補強工事									
	電気設備詳細図									
	No. 4 / 全 4									
	縮尺 図示					令和 年 月				
部長		課長		係長		設計		写図		
岡山市水道局施設整備課										